

次号予告

とびら府中リハ学院 五味重春

展 望

筋力テストの問題点を考えるリハ学院 田村美枝子

講 座

対談／PT・OTと研究(3)国立東京病院 砂原茂一
東大 上田 敏

研究と報告

老人の関節可動域の研究浴風会病院 伊藤直栄

簡易上肢機能検査の試作都心障センター 金子 翼

幼児の身体構造に関する認識力の研究倉敷くすの木園 福本安甫
——普通児とCP児の比較——

OTの為の調理動作指導法都心障センター 平尾 恵美子

海外だより

MOT学生の“インターン前の実習”に関する

スーパーヴィジョンの報告リハ学院 矢谷 令子

今日の精神科OT

対談／Therapeutic community (治療的社会)と近畿リハ学院 アイリーン・山口
OT の役割日下部病院 富岡 詔子

Q and A A: ねむの木学園 宮城 まり子
Q: 自治医大 谷岡 淳

メディカルプロGRESS東大 上田 敏
都養育院 荻島 秀男

編集後記

特集“訪問指導”ですが、PT・OTの社会活動は今後益々重要性を増すと考えられますし、出来るだけ殻の中に閉じこもらないで大きな視野で各地での発展をとげて戴きたいものです。座談会と論文3編それぞれ特色があり御参考にして戴けると幸いです。

横山先生の用語難感では日本語のむづかしさを再認識させられますが用語の統一という事では大変な苦勞を委員会の先生方がはらって居られます。出来るだけ私共も用語の統一という事を念頭

において統一に向かったの努力を致しましょう。

海外体験をふりかえてでは米国の精神科作業療法とその背景が紹介されて居りますが、米国での精神科OTは確実に社会との連けいを持って居ります。我国でも社会と結びつかない限り functional OT であれば、psychiatric OT であれば職種そのものの発展が疑問視されるのではないのでしょうか。

砂原先生と上田先生の対談は最高に面白い内容となりました。ある意味ではPT・OTの痛烈な批判でもあります。理学療法、作業療法の治療効果の判定という面で努力が重ねられる事が大きな課題でありましょう。

(荻島秀男)

編集顧問

天 児 民 和
九州労災病院院長

五 味 重 春

府中リハビリ学院院長

砂 原 茂 一

国立療養所東京病院院長

津 山 直 一

東京大学教授・整形外科
(五十音順、以下同じ)

編集委員

上 田 敏

東大リハビリ部

荻 島 秀 男

都養育院リハビリ部

佐 藤 馨

神奈川リハセンター

鈴 木 明 子

府中リハビリ学院

谷 岡 淳

自治医科大学

田 村 美枝子

リハビリ学院

寺 山 久美子

都心障センター

松 村 秋

都養育院リハビリ部

編集同人

明 石 謙

大 井 淑 雄

大 川 嗣 雄

大 橋 博

鎌 倉 矩 子

紀 伊 克 昌

小 林 夏 子

駒 沢 治 夫

佐 藤 剛

田 原 澄 彦

富 岡 詔 子

奈 良 勲

藤 沢 しげ子

藤 本 欽 也

前 田 守

松 本 妙 子

矢 谷 令 子

山 下 隆 昭

横 山 巖

和 才 嘉 昭

(担当 細田・岩元・松橋)